

JACET Kansai Newsletter

No. 54 August 15, 2010

社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 野口 ジュディー (武庫川女子大学) (Chapter President: Judy Noguchi, Mukogawa Women's University)

事務局: 〒606-8351 京都府京都市左京区岡崎徳成町5 学校法人京都外国語大学 京都外国語専門学校 幸重研究室内

(Chapter Office: c/o Mitsuko Yukishige, Department of English and American Language,

Kyoto Career College of Foreign Languages)

E-mail: m_yukish@kufs.ac.jp URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

和英辞典とライティング

理事 南出康世

1989年告示の高等学校学習指導要領に英語 IIC に代わってライティングが登場した (この科目名は1999年に改訂された指導要領でも踏襲されたが、2009年の改訂ではライティングという科目名はなくなり「英語表現 I, II」に吸収されることになった)。1986年頃から我々編集チームは語用論や談話分析の研究成果、パラグラフライティングの概念を取り入れた形で教科書の編集・執筆に取りかかったが、「コミュニケーションのためのライティング」というものの、従来の和文英訳は基礎作業としてどうしても必要であった。問題文を作るに当たって編集委員の高校の先生から、生徒ができるだけ和英辞典を引かないように、日本語の語や語句には英語のヒントを与えてほしいという意見が出された。「和英辞典は未知の英語を知る喜びを与える」と考えていた私には意外な意見であった。理由の一つは、生徒が各自和英辞典を引いて作るとばらばらな答えが出て評価や採点に手間がかかるということであるが、もっと深い理由は和英辞典を引いて英文を書くとは不自然な英語になるという辞書に対する強い不信感だった。たとえば、「蚊に刺された跡 (mosquito bite) を強く搔いたので赤くはれてきた」という和文英訳を例にとってみよう。搔く = scratch, 強く = strongly, 赤くなる = redden, 腫れる = swell という情報が得られる。これを継ぎ足すと I scratched a mosquito bite so strongly that it reddened and swelled. が得られる。これとネイティブスピーカーが書いた英語 I scratched a mosquito bite so hard that it became red and swollen. と比べてみればその差は歴然としている。和英辞典を引いて英文を書くとは不自然な英語になるという主張は多くの場合正しいと思う。木村博是・木村友保・氏木道人編『リーディングとライティングの理論と実践』にはライティングのさまざまな指導法が紹介・議論されていて極めて有益であるが、「ライティングにおける和英辞典の役割」といったトピックは論じられていない。要するに和英辞典は高校でも大学でもライティングのためのツールとして信用されていないのである。

辞典を作る側もこれに気付いて英文校閲をネイティブスピーカーに依頼するなど、英語の用例の向上に努めてきた。しかし校閲ではなかなか徹底しないようである。現在、私が関係している和英辞典では校閲ではなく協同作業ということにした。日本人と英語のネイティブスピーカーが協力して用例を作るのである。こうした作業から得られた成果をスペースの都合上3つのみあげる。一つは「蚊」の例で見たように典型的な共テキスト (co-text) を文あるいは談話単位で示すことである。2つ目は品詞対応を原則にしないことである。たとえば、「珍品」は名詞なので多くの和英辞典は *rarity, rare article* といった名詞 (句) で対応している。しかし「この切手は珍品で値が高い」は *This stamp is very rare and expensive.* のように、形容詞を使った方がすっきりする。3つ目はさらに一歩進んで対応する英語の逐語訳を無理に求めないことである。たとえば、「性質」を和英辞典で引くと *nature, disposition, composition* などが得られるが、「スズメバチは獐猛な性質なので巣には近寄らない方がよい」を和英辞典が与えている語を使って英語に直そうとすると、不自然な英語になってしまう恐れがある。 *Wasps are so aggressive that we should keep away from their nests.* のように言うほうがよい。「性質」に対応する英語はどこにもない。その意味は文全体から帰納されるのである。文法の時間に習った直説法現在には「物事の一般原理・性質を表す」を思い出せばよい。

我々は日本語の中で生活している限り「これは英語で何と言うのだろうか」という問いから逃れることはできない。その意味で和英辞典は不可欠である。しかし注意すべきは、語は必ず仲間と一緒に現れて共テキストを構成するという点である。この仲間は我々が創造するのではなくすでに存在するものである (和英辞典の訳語を積み重ねて創造するとたいてい不自然な英語になる)。この観点に立って和英辞典は、語レベルの逐語訳からコロケーション (collocation)、慣用連語 (phraseology) レベルの対応訳へ進化しなければならない。(大阪女子大学名誉教授)

■ 2010 年度関西支部春季大会の報告 ■

2010年度関西支部春季大会が2010年6月19日(土)に同志社女子大学(今出川キャンパス)で開催されました。大会テーマを「英語教育の今後の方向性を探る」として、計10のコロキアム・発表および大会テーマに関する講演(「日本の一貫した英語教育システムの改革に向けて」小池生夫先生(慶應義塾大学名誉教授))が開かれ、158名の参加がありました。

春季大会がスムーズに運営できたのは、大会開催に向けて周到な準備をしていただいた研究企画委員の先生方の献身的なお力添えがあったことでした。特に、会場校の先生方のご尽力がなければ、このような素晴らしい支部大会は開催できませんでした。また、ご参加いただきました会員の皆様、本当にありがとうございました。

The JACET Kansai Chapter Spring Conference (Theme: “Toward the innovation of a consistent English education system in Japan”) was successfully held on June 19 at Doshisha Women’s College of Liberal Arts, Imadegawa Campus. The program included a lecture (“Toward the innovation of a consistent English education system in Japan” by Dr. Ikuo Koike, Emeritus Professor of Keio University), a colloquium, research reports and application reports. A total of 158 people participated in the conference.

■ 2010 年度 第1回講演会の報告 ■

2010年度関西支部 第1回講演会が2010年7月24日(土)にキャンパスプラザ京都で開催されました。演題:「ヨーロッパにおける言語政策の最近の動向」
司会:河原俊昭先生(京都光華女子大学)
講演者:林桂子先生(広島女学院大学)、杉谷眞佐子先生(関西大学)
講演には54名の参加がありました。多くの皆様のご参加、誠にありがとうございました。

The 1st Lecture Meeting of the 2010 academic year organized by the Research on Foreign Language Education Abroad SIG was held on July 24, at Campus Plaza Kyoto, with more than 50 participants.

■ JACET 関西支部開催講演会のお知らせ ■

JACET 関西支部では、今後、下記の通り2回の講演会を予定しております。会員の皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

第2回:2010年10月2日(土)
教材開発研究会による講演会
(場所:神戸国際会館予定)

第3回:2011年3月12日(土)

招聘講師によるコロキアム

司会:未定

講師:

(1)トム・ガリー先生(東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻・教養学部准教授/ALESSプログラム マネージング・ディレクター)

(2)田地野 彰先生(京都大学高等教育研究開発推進センター大学院人間・環境学研究科外国語教育論講座教授)

(場所:関西学院大学大阪梅田キャンパス)

要旨などの詳細は、開催が近づきましたら支部HPに掲載致しますのでご覧下さい。

The JACET Kansai Chapter will hold two more lecture meetings this academic year as follows:

- 2nd Lecture Meeting by the Materials Development Group on October 2 at Kobe International House (<http://www.kih.co.jp/index.php>).

- 3rd Lecture Meeting by two invited speakers (Associate Prof. Tom Gally of the University of Tokyo and Prof. Akira Tajino of Kyoto University) on March 12, 2011, at Kwansai Gakuin University, Osaka Umeda Campus

(<http://www.kwansei.ac.jp/Contents?cnid=5743>).

Details available at the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

Fee: JACET member, free; nonmember, ¥500. No need to pre-register.

■ 2010 年度 関西支部秋季大会 ■

日程:2010(平成22)年11月27日(土)10:00-17:00
(受付開始:9:30)

会場:関西学院大学・国際学部(上ヶ原キャンパス)
大会テーマ:「今、求められる大学英語教育における授業の方向性(仮)」

<発表応募要領>

2010年度 JACET 関西支部春季大会は、11月27日(土)に関西学院大学・上ヶ原キャンパスにて開催されます。この大会でのワークショップ・コロキアム・研究発表・実践報告・ポスター発表を募集致しますので、発表をご希望の会員の方は、次の要領で関西支部事務局までご応募ください。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

1. 発表は英語教育および関連分野に関する内容で、未発表のものに限ります。
2. 研究発表・実践報告は、発表が20分、質疑応答が10分、合計30分の形式になります。ワークショップ、およびコロキアムは90分、ポスター発表は60分です。

3. 応募者は、JACET 関西支部ホームページ (www.jacet-kansai.org) の「発表申込み」ページより発表のエクセルファイル (「form.xls」) をダウンロードして、以下の必要事項を入力し、ファイル名変更の上 (例: 「yamadat.xls」)、関西支部事務局 (admin@jacet-kansai.org) まで添付ファイルで送信してください。

A) 応募情報

- a) 発表形式: ワークショップ、コロキアム、研究発表、実践報告、ポスター発表の別を選択してください。
- b) 発表題目 (日本語と英語)
- c) 発表者情報 (共同発表は氏名と所属のみ) : 氏名 (漢字とローマ字)、所属 (日本語と英語)、E-mail、電話番号
- d) 発表に使用する言語 (日本語、もしくは英語)
- e) 審査コメントの希望言語 (日本語、もしくは英語)
- f) 使用希望機器 (無い場合は「なし」を選択)

B) 発表要旨 (目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献等) 日本語の場合は、①審査用 800 字程度、②公開用 200 字程度、英語の場合は、①審査用 400 words 程度、②公開用 200 words 程度、無記名とする。ただし、引用文献は字数に含めない。なお、母語以外の言語でアブストラクトを作成する場合は、あらかじめネイティブ・チェックを受けた上で提出して下さい。

※申込み入力確認を、入力いただいた E-mail 宛に原則 3 日以内に受信したことをお知らせします。万一、連絡がない場合は事務局までご一報ください。

- 4. 申込応募期限: 2010 年 9 月 15 日 (水) 午後 11 時 59 分
- 5. 選考は選考委員会にて行います。
- 6. 選考結果は、締切り後 1ヶ月程度で E-mail あるいは封書にて通知します。
- 7. その他: ワークショップ・コロキアムの詳細については、事務局 (admin@jacet-kansai.org) までお問い合わせください。

CALL FOR PAPERS

The 2010 Fall Conference of the JACET Kansai Chapter will be held at Kwansai Gakuin University on Saturday, November 27. Members of the JACET Kansai Chapter are invited to present proposals for research papers, reports on classroom activities, poster sessions, workshops, and colloquia.

Conditions and procedures for proposals are as follows:

- 1) Proposed topics should be relevant to English education and related fields. The proposed material should not have been presented elsewhere.
- 2) A research paper or a report on classroom activities

should consist of a 20-minute presentation and a 10-minute Q & A period. Workshops and colloquia are allotted 90 minutes, and poster sessions entail a 60-minute period for explanation.

3) An Excel-based proposal form (「form.xls」) is available at the JACET Kansai website (www.jacet-kansai.org). Fill in the following information on the form, rename the file (e.g., 「yamadat.xls」), then send it via e-mail to admin@jacet-kansai.org as an attachment.

A) Application form:

- a) Type of proposal (research paper, report on classroom activities, poster session, workshop, or colloquium); b) Title of proposal; c) Information about applicant(s): name, affiliation, e-mail address, phone number; d) Language for presentation (English or Japanese); e) Language requested for peer review (English or Japanese); f) Equipment required.

B) Abstract & Summary:

- a) Anonymous; abstract of approximately 400 words for review, (Mention should be made of the purpose of the research, background, methods, conclusion, necessary references.), and b) Summary of approximately 200 words for the conference program.

※ Confirmation of the receipt of your proposal will be sent by e-mail within three days after its receipt. If you do not receive a confirmation message, please inform the office as soon as possible.

- 4) Submission deadline: September 15, 2010.
- 5) Selection of the proposals will be carried out by the Reviewing Committee.
- 6) Notification of acceptance will be sent from the office within a month after the deadline.
- 7) With regard to workshops and colloquia, please contact the JACET Kansai Chapter Office (admin@jacet-kansai.org) for details.

■ 『JACET関西紀要』投稿募集 ■

紀要編集委員会では、『JACET 関西紀要』第 13 号への投稿論文を募集いたします。投稿原稿は、大学における英語教育およびその関連分野に資する内容のものとし、今号も支部大会および全国大会での発表済み論文枠が設けられます (紀要刊行 1 年前までのいずれかの大会での発表が対象)。会員の皆様には奮ってご投稿くださるようお願い申し上げます。

投稿期限: 2010年11月15日 (月) 午後 11:59 まで
論文送付先: 紀要編集委員会 事務局長
山西 博之 (関西外国語大学)
hiyamani@kansaigaidai.ac.jp

提出方法：電子メールの添付ファイルのみ（原稿郵送は不要）

※ 受領後 3 日以内に確認の返信が届きます。
万一 3 日たっても返信が届かない場合は、山西まで再度ご連絡ください。

発行までの日程（予定）：

2010 年 11 月 15 日 投稿原稿締め切り
（※添付ファイル送信のみ）
2010 年 12 月 20 日 審査結果通知
2011 年 2 月 10 日（必着） 最終原稿締切
（※添付ファイル送信のみ）
2011 年 3 月末刊行

なお、投稿の際には www.jacet-kansai.org にある『JACET関西紀要』の投稿規定・書式テンプレートをご覧の上、書式に従ってください。

JACET Kansai Journal Call for Papers

Kansai Chapter members are welcome to submit manuscripts for consideration for publication in Issue No. 13. Papers should be related to research on college English language education or related areas. The *JACET Kansai Journal* especially welcomes papers that have been presented at JACET chapter or national conferences within the past year.

Submit manuscripts to:

Hiroyuki YAMANISHI, Ph.D.
JACET Kansai Journal Secretariat
Kansai Gaidai University
hiyamani@kansaigaidai.ac.jp
(only e-mail submissions will be accepted)

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please request confirmation.

Only e-mail submission will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted.

Prepare your manuscript according to the *Journal* instructions using Microsoft Word. Send it as an attached file with an email message to Dr. Hiroyuki Yamanishi, Secretariat, *JACET Kansai Journal*.

Publication schedule for No. 13:

Deadline for submission: Nov. 15, 2010 (via email as an attached file)
Notification of publication decision: Dec. 20, 2010

Deadline for submission of the final version: Feb. 10, 2011 (via email as an attached file)

Publication: March 31, 2011

Refer to the guidelines and template at the JACET Kansai Chapter website (www.jacet-kansai.org).

■ 事務局便り ■

支部会員向けの各種案内の配送やメール・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号など）が変わられた方は、必ずご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。ご異動等のご連絡は、本部事務局（jacet@zb3.so-net.ne.jp）までお願い致します。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers and other information to JACET headquarters (jacet@zb3.so-net.ne.jp).